



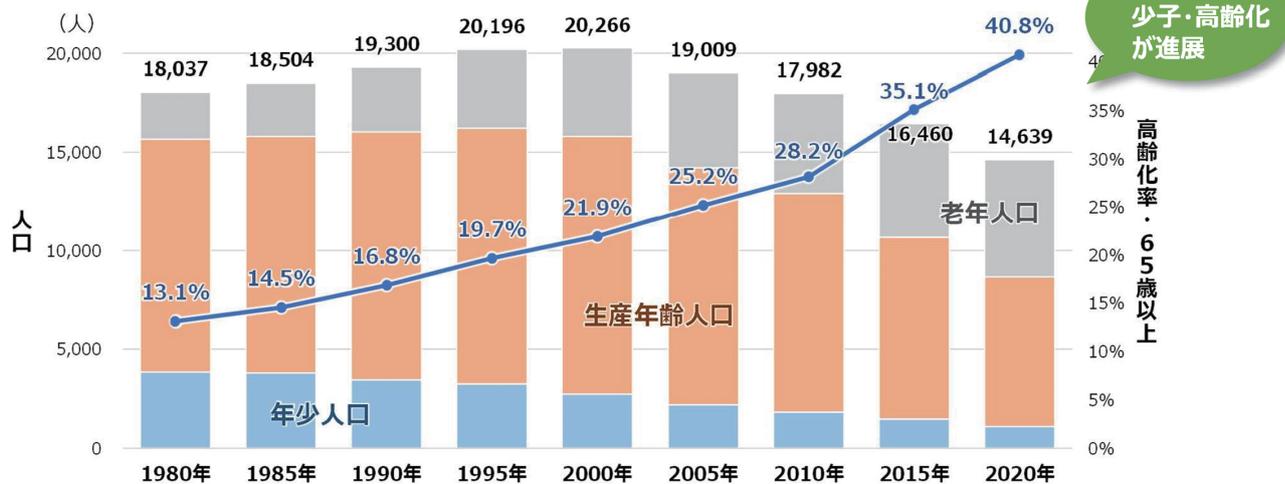
### 1-3. 九十九里町の人口・世帯動向

#### ①九十九里町の人口動向と少子高齢化の進行状況

本町の人口は、令和2(2020)年は14,639人であり、平成12(2000)年の20,266人をピークに減少傾向にあります。年齢3階級別人口の推移では、少子高齢化が年々進行し、生産年齢人口の占める割合も減少しています。

人口減少や少子高齢化の進行とともに、生産年齢人口の割合も減少傾向にあることから、今後地域の活気が失われていくことが懸念されます。

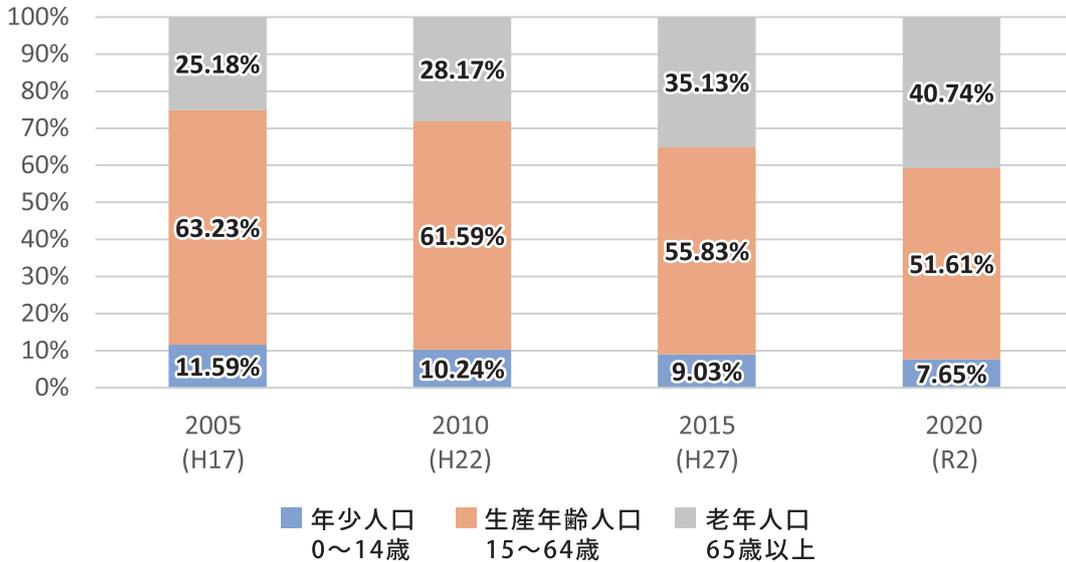
< 本町の人口・高齢化率の推移 >



〔九十九里町地域公共交通計画より(元データ:国勢調査)〕



< 年齢3階級別人口の推移 >



〔国勢調査 住宅・土地統計調査より〕

②九十九里町の世帯数と世帯人員の推移分析

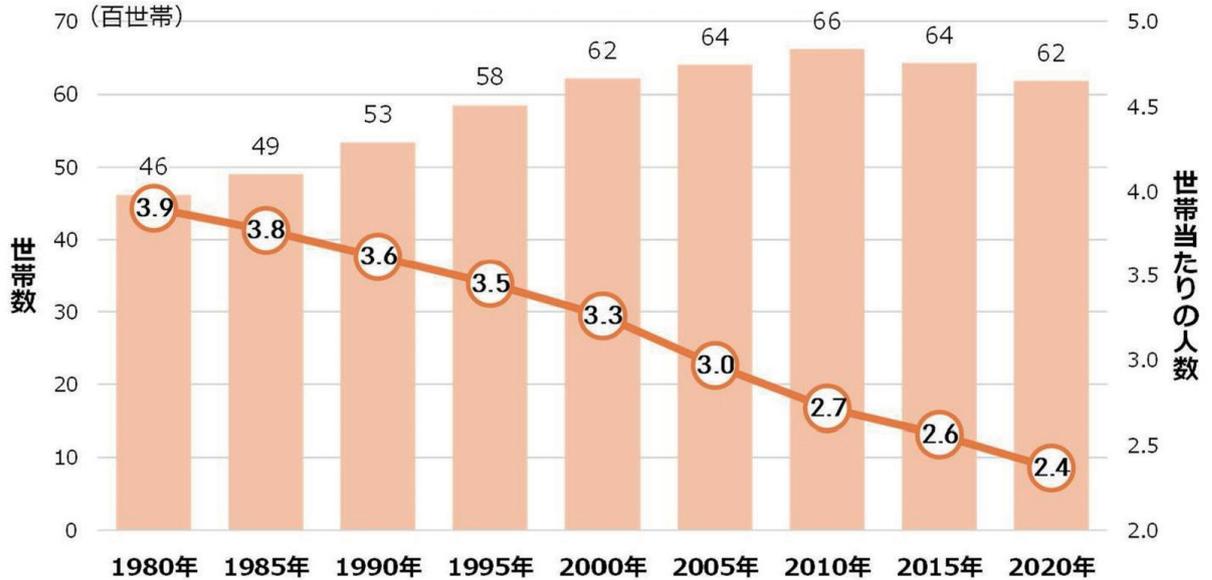
本町の世帯数は、昭和55（1980）年以降増加傾向で推移し、平成22（2010）年には6,600世帯を超えました。その後は人口減少の影響を受け、近年では世帯数も減少傾向にあります。

1世帯当たりの人数も、昭和55（1980）年以降、一貫して減少傾向となっており、令和2（2020）年では2.4人/世帯と、1世帯当たりの人数の減少がみられます。また、高齢夫婦のみ世帯及び高齢単身世帯をみると、一貫して増加傾向で推移しており、世帯数はともに約1,000世帯で、総世帯数に対する割合においても1割以上となっています。

1世帯当たりの人数の減少は、地域の活力の低下に加え、空家等の増加にもつながる深刻な課題として懸念されます。

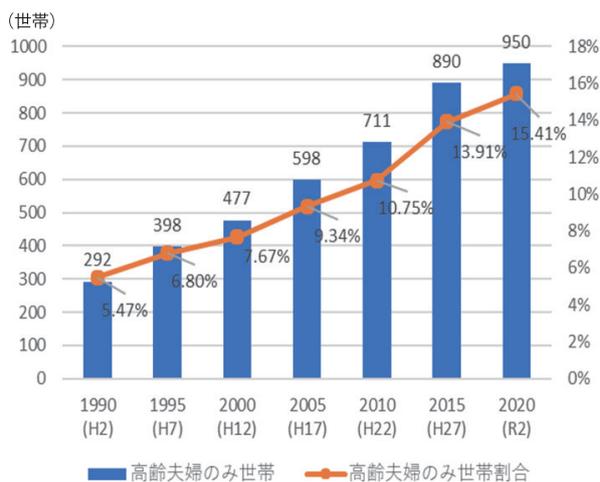


### < 本町の世帯数の推移 >



〔九十九里町地域公共交通計画より（元データ：国勢調査）〕

### < 本町の高齢夫婦のみ世帯数と割合の推移 >



〔国勢調査より〕

### < 本町の高齢単身世帯数と割合の推移 >



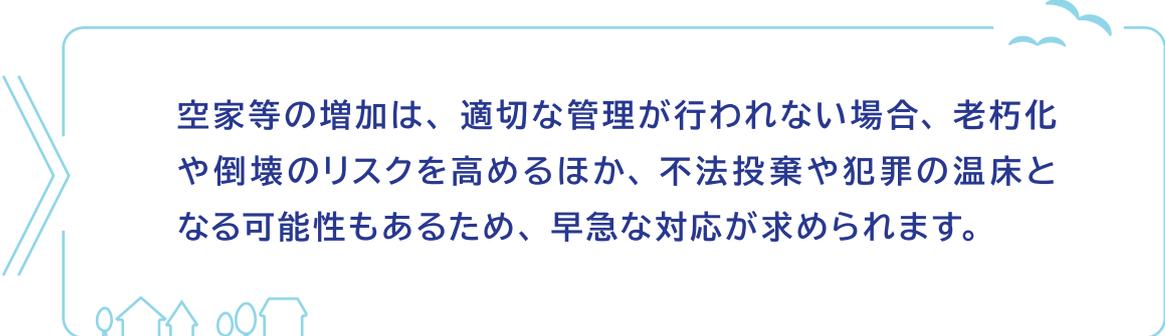
〔国勢調査より〕



#### 1-4. 九十九里町の住宅ストックと空き家の現状

本町の総住宅数は、近年微減傾向で推移しており、平成30（2018）年には7,570戸を記録しています。住宅の供給量としては、世帯数を上回る水準にあり、量的には一定の充足が認められます。

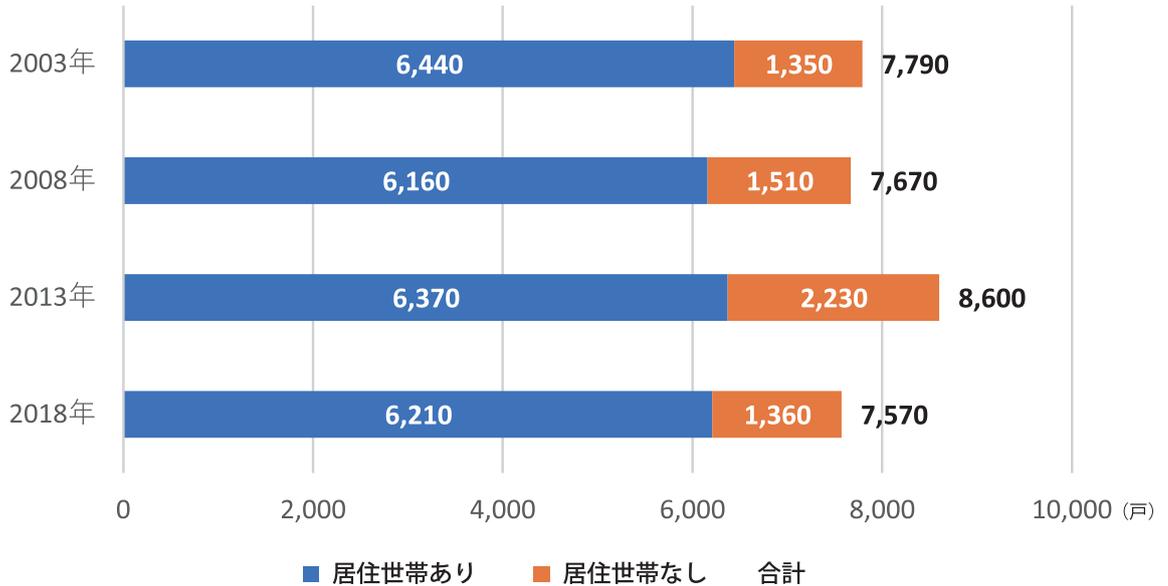
しかしながら、居住実態のない「空き家」は1,360戸に達しており、住宅総数に占める空家率は18.0%と、全国平均（13.6%）及び県平均（12.6%）を大きく上回る水準となっています。これは、総住宅数の約2割が空き家として存在していることを意味し、地域の住環境や景観の維持、防災・防犯面においても懸念される状況です。



空家等の増加は、適切な管理が行われない場合、老朽化や倒壊のリスクを高めるほか、不法投棄や犯罪の温床となる可能性もあるため、早急な対応が求められます。

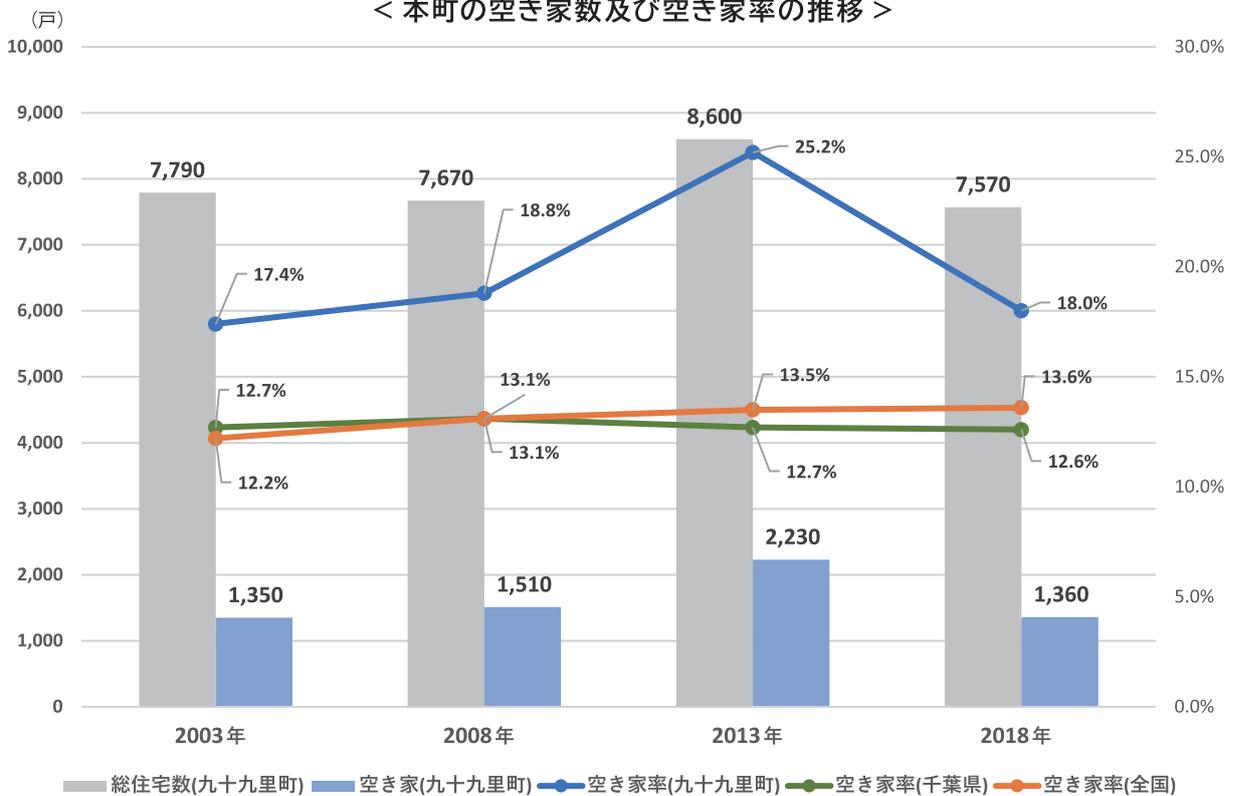


< 本町の総住宅数の推移 >



〔住宅・土地統計調査より〕

< 本町の空き家数及び空き家率の推移 >



〔住宅・土地統計調査より〕